

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
2018年4月10日発行 第88号 1部100円 http://chiba.gekijou.org/



文科省「学習指導要領等の改定のポイント」より抜粋

1. 改訂の基本的な考え方

- 資質・能力を一層確実に育成する。資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視する。
- 知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成する。
- 道徳教育の充実や体験活動の重視。豊かな心や健やかな体を育成する。

2. 主体的・対話的で深い学び

- 「何ができるようになるか」を明確化
「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有し、全ての教科等を①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で再整理
- 教員の授業準備時間の確保など指導体制の充実や、運動部活動ガイドラインの策定による業務改善などの推進

3. カリキュラム・マネジメントの確立

- 教科横断的な学習、「主体的・対話的で深い学び」の充実のためのマネジメント

4. 教育内容の主な改善事項

- 道徳教育の教科化
- 小学校中学年で「外国語活動」を、高学年で「外国語科」を導入
- 幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の明確化。
健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現
- 主権者教育、消費者教育、防災・安全教育
- 部活動社会教育関係団体等との連携による持続可能な運営体制
- 子供たちの発達の支援（障害、日本語の能力、不登校等に応じた指導）

新学習指導要領で 子どもたちの教科、学校生活はここが変わる！



2017年3月に改正された新学習指導要領により、4月から小学校で、検定済みの教科書を使った道徳が正式教科になり、2020年度の新指導要領の完全実施への移行措置として「英語活動」も変わっていく。
新学期にあたり、地域でさまざまな子どもたちの体験、居場所、声を聴く等の活動をする私たちの目で今回の改定を捉えてみたい。

◆「主体的・対話的で深い学び」の実現

世間で「アクティブラーニング」と呼ばれる能動的な学びを意味する。
先生方は、教科横断的な学習のためのカリキュラムづくりをし、子どもたちに問われるのは多面的にみたり、柔軟に考えたりできる力、豊かな感性だろう。それを言葉で伝える表現力も大切だ。

◆道徳教育の教科化

これまで「道徳の時間」は小中学校で週1の「領域」として実施されていたが、今回「特別の教科道徳」として位置づけられた。変化は①検定教科書を使うこと②評価することの2点だ。
地域で教育を考える会に参加してみると「わが子がどんな授業を受けているか知りたい」「どう評価がされるのだろうか？そもそも評価ってできるの？」という質問が保護者から出されていた。

◆高学年で「外国語科」を導入

これまで高学年で「英語活動」が週1時間実施されていたが、新たに3・4学年で「英語活動」が週1時間、5・6年生で「新教科英語」が週2時間加わる。7時間授業の日ができる、休み時間が短くなる等、全体的にスケジュールがタイトになり、子どもたちや教師の忙しさへの心配もある。

◆保育所保育指針・幼稚園教育要領も改定

子どもたちは、主体的におもしろいと感じることに没頭して遊びこむ中で、やる気、意欲粘り強さ、探求心が身につく。そこをサポートする教職員、家庭や地域の人々の役割が期待されている。人間として生きていく力を育む、「非認知的能力」についての研究は幼児期の教育に多い。

◆教師の時間の確保

「授業」の準備を優先し、教育の一環だが必ずしも教師が担わなくてよい部活動を、学校以外が担うことも積極的に進める方向だ。最近のニュースでは、名古屋市は2年後に小学校の部活動を廃止し、それ以降は、教員が携わらない形で、児童が運動や文化活動の機会を確保する方法を模索することだ。

子どもを真ん中に、地域、保護者、学校がつながりあって、不安や心配、問題があれば声をあげていこう！
(文責：岡田)



仲間や親子で安心しておしぼいをみることによって
乳幼児期から身につけたい！
非認知的能力



子ども劇場千葉県センターが「0・1・2・3歳児と親のためのはじめてのおしぼい」にとりくんで10年以上がたちました。地域の子どもNPO、小児科医などと連携し、さまざまな助成金を受け、乳幼児の親子に届けてきました。また、乳幼児だけでなく、今まで「おしぼい」を観る機会がなかった小・中学生の子どもたちにもむけても「はじめてのおしぼい」を実施しています。

「小さいので内容がわかるのかな？観てられないのではないかな？ちゃんとできるかな？」親たちは参加するまでは心配がいっぱい。でも、一歳に満たないわが子が、笑ったり、指さしたり、声を出したり、体じゅうを使って楽しさ・うれしさを表現すると、親もその姿をみてうれしくなって、抱きしめたくなくなるくらい、我が子をいとおしいと思える瞬間になります。「よく観ていた！びっくりしました！私も楽しみました！」、参加した親の感想は、100%満足しています。小児科医、子育てに関わる専門家からは、子どもの成長発達にとって大切であることが出され、私たちも、長年にわたって掴んだアンケートのデータからもその実感を得てきました。

今、乳幼児期に身に着けていくことが必要なこととして「非認知的能力」(やさしさ、おもいやり、協調性、自制、社交性、自尊心、意欲、信頼)が注目されています。

「生の舞台」は、やさしさやおもいやり、仲間と共有することの楽しさ、やってみようという意欲、自尊心、また、親子にあっては愛着形成能力、信頼関係を築くことにつながっています。まさしく、非認知的能力が身につく「はじめてのおしぼい」だと言えます。

平成29年度赤い羽根共同募金助成事業



☆千葉県中央児童相談所

6月21日(火) 参加者31人
人形芝居燕屋 くすのき燕
肩掛け人形芝居「さんまいのおふだ」
腹話術「ハローカンクロー」



かわいらしい「カンクロー」とのやりとりが楽しい腹話術と舞台を肩にかけ一人ですべての登場人物を操り演じる、観客参加型人形劇。

はじめての生の人形劇に感動し、おしぼいに集中して楽しんでいた。子どもたちが参加する場面では、声をかけたり応援したりと、子ども同士の一体感が生まれた。

☆千葉県乳児院

7月28日(金) 参加者16人
人形劇団ののはな「ともだちげきじょう」

子どもたちはじーっと観ている。「できるかな？」の声かけと一緒に演じ始めた。リズムに合わせて手をたたいたり、いっしょに人形を動かしたりとお芝居の世界にすっかり入っていた。かわいい！



☆千葉市児童相談所

7月14日(金) 参加者47人
ビタシカオフィス BBモフラン
「アフリカンリズム&パーカッション」



トーキングドラムでリズムに合わせて、体をうごかし、アフリカンリズムに幼児も一生懸命太鼓をたたき、飛び跳ねて踊っていた。はじめは、反応がない様子だった子どもも太鼓で嬉々として演奏者に喜びを表現していた。自分も楽器をやりたくなった。ダンスを将来やっていけるといいな。

☆小中台地域福祉交流館

7月29日(土) 参加者74人
人形劇団ののはな「ともだちげきじょう」

みんながあたかく見守ってもらえる中で子どもはいい体験ができた。「やってみたい人？」手が挙って人前で演じたり、お話しの世界に入り込んでいた。あそびのワークで作ったちょうちょは家に帰っても遊びが続いた。8か月の娘もくぎづけ。親子ともはじめてのおしぼいで素敵な時間をすごせた。



☆長南町子育て交流館 主催:長南町

2018年1月30日(火) 参加者 親子13組
人形劇団ののはな「ののはなげきじょう」

子育て支援として、何か子どもたちや保護者に楽しいものを届けたいという職員からの依頼で受託し実施。子どもたちは初めて見る人形劇の舞台に、始まる前からわくわくした顔で覗き込んでいた。いつも一緒に遊んでいる友達と並んで座り、体をお母さんに預け、安心した表情で見入っていた。保護者の感想として「言葉のまだ分からない息子でも楽しそうに、そして真剣に観ていて、感じるものがあつたんだと思った。心が温かくなり癒されました」と寄せてくれた。



☆市原市国分寺公民館 主催

7月30日(日) 参加人数81人
人形劇団ののはな「ともだちげきじょう」

一番先に最前の子どもたちが反応し、けらけらと笑い始める。『「びよんちゃんケロちゃん」を一緒にやってくれるかな?』と言うと、「はあ〜い」と3人の手があがった。「お名前は？」お客さんが余りにも多いことにびっくり。途中川を渡る時に、1人子どもが前に出てきた。川に触ったりしているが、そのうち音楽に乗って阿波踊りのように踊っていた。子どもも大人も大笑い。





2017年4月～2018年2月末現在の状況
 * 総着信数: 6,808件 (2018年2月末現在)
 * 受け手ボランティア 84名
 千葉県赤い羽根共同募金の助成により、カードを作成しました。



「死にたい」「消えたい」「自分には価値がない」と言う子どもたちくチャイルドライン千葉へ

1999年の開設以来、チャイルドライン千葉は子どもの声を聴き続けてきました。子どもの気持や思いは19年間、ほとんど変わりませんが、子ども・若者を取りまく環境はずいぶんと変わってきていて、一人親家庭の増加で、疲れた親を気遣う話が増えてきました。

IT教育の広がりやスマートフォン等の普及で情報収集やコミュニケーションのあり様も変わり、将来の夢はユーチューバーと言いい、サイトやアプリで距離や年代を超えた出会いを楽しんだりもしています。公立の中高一貫校やフリースクール、通信制高校など、学びの場も多様になってきています。この一年間の電話からはこうした変化をさまざまなと感じます。

◆人間関係や勉強に行き詰まると、死にたい、消えたい、自分には価値がないと言う子どもも増えました。気分がふさいだり、思うようにならない苛立ちの表現なのでしょう。

◆また、友人や家族に囲まれながらも孤独を抱えて自傷行為をやめるつもりはないとも言います。

◆一方、部活や塾などでの顧問や先生の行為をセクハラや体罰と明言するなど、子どもの意識も変わってきました。

LINE等のSNSの慣れもあり電話で話すことは精神的ハードルになっている、内容が周りに知られる、電話以外のツールで話したいと子どもからの意見も多く、昨年度よりチャットによるオンライン相談を試行してきました。3月14日(水)から21日(水) 16時～21時の地域キャンペーンにはチャイルドライン千葉として参加し45件の話しを聴きました。

電話と比べ1件当たりの対応時間は長くなるのが特徴ですが、子どもの話す気持や内容は電話と同じです。「死にたい」との打ち込みに緊張感が走るときもありました。

子どもたちを取り巻く環境の変化にも対応し、気持ちを吐き出し、ほっとできる居場所となるよう、受け手ボランティア一同、研鑽を積み子どもたちに向き合っています。

千葉県内ではチャイルドラインへの理解と周知は広がり、小学校、中学校へは隔年ごとにカードを届けることができています。子ども支援に関わる機関、団体との交流や講演会の講師として地域に向く機会も増えました。

「ママパパラインちば」は、2002年から開設し、今年で16年になります。子育て中のママやパパの不安な気持ちや悩み、日常生活でのイライラ感やグチ等、何でも話せる垣根の低さと、匿名の電話であること、プライバシーにも配慮して安心できるラインを心がけ、お話を聴かせてもらっています。



2017年4月～2018年3月までの状況
 開設日: 53日開設
 件数: 202件 1件あたり36分
 千葉県赤い羽根共同募金・パルシステム千葉NPO助成基金でカードを作成しました。

〈今年の特徴〉



昨年に引き続き、件数が多くなっています。乳幼児をもつ家庭からの電話よりも、小学生以上の子どもを持つ家庭からの電話が多くなりました。小学生を持つ親からの電話の増加は県内52市町村の小学校へのカード配布の効果ではないかと考えられます。

「聴いてください」「何から話していいかわからない」から始まる電話 くママパパラインちば

話してよかった！ 聴いてもらってスッキリした！

この一年間の電話では、子どものことやかけ手ご自身のことが多く、ご自身のことは88件で全体の48%になります。一昔前に比べ、子育てがずっと辛くなっており、自信がなく傷つきやすい親が増えているように感じます。精神疾患を患っている方や子育てに自信がない、夫の非協力、ママ友とのトラブル等いろいろなことが絡まった複雑な内容のものが増えています。

☞発達障がいの子がいるが、夫や自分の親の理解がない。辛い。

☞家にいるとストレスがたまる。寂しい。怖い。この先の自分に不安がある。

☞母親だけが子どもの面倒を見なくてはいけないのでしょうか？

☞薬も飲んでおり体調も悪いときもあって、子どもの面倒も家事もできない。夫には手伝わってもらえない。

☞夫は単身赴任中。子育てを一人でやっているのに、漠然と不安、子育ても十分にできていない。

☞グチでもいいですか？1才の子がべったりで大変。週末が来るのが嫌。夫は子どもの前でも暴言を吐く。

☞中学生の男子。新学期は1日だけ学校に行つて、ずっと休んでいる

受け手は、かけ手の気持ちやかかえている状況を精一杯想像し、寄り添いながらあいづちをうち、優しく声をかけています。また、かけ手自身が問題を認識して整理でき、気持ちも落ちついて前向きになって解決できるよう、応援しています。話を聴いてもらったかけ手の変化は劇的で「傾聴の力」を感じています。

現代舞踊・ダンス

講師：安西真幸
安西千紗

講師：藤森裕美 中山圭 大塚庸介
米谷美穂 山脇明日香 (イツフォーリーズ)

ミュージカル

| | | | |
|-----------|----------|-----|-----|
| 9月5日(火) | 浦安市立富岡小 | 4年生 | 55人 |
| 9月13日(木) | 木更津市立鎌足小 | 全校 | 80人 |
| 10月11日(水) | 印西市立木刈小 | 6年生 | 72人 |
| 10月31日(火) | 千葉市立更科小 | 全校 | 61人 |



*どんな動きも認めてもらえたので、運動は苦手な子も楽しめ、頑張ればできるんだと自信がもてた。
*いつもはおとなしい子が笑顔でのびのびとうごき、人と関わることが苦手な子も、すすんでペアの子を誘っていた。プロの技を目の前で観るのは、DVDとは比べものにならないくらい程大きくて魅力的。

| | | | |
|-----------|---------|-------|-----|
| 9月13日(水) | 山武市立日向小 | 1・2年生 | 61人 |
| 10月19日(木) | 市川市立稲越小 | 5.6年生 | 53人 |



最初は不安そうな様子であった児童も段階を追って、自然に体が動くようになり、最後には皆で協力して一つの作品を創り上げ、とても満足した様子で、達成感が得られた体験だった。プロの演技がすごくて、子どもたちを惹きつけた。学校行事に活かしていく。

演劇表現

講師：大潤弘幸 岡本圭
(劇団 風の子)

| | | | |
|-----------|----------|-------|-----|
| 9月27日(水) | 浦安市立美浜南小 | 4年生 | 49人 |
| 10月12日(木) | 栄町立布鎌小 | 全校 | 84人 |
| 12月19日(月) | 市原市立内田小 | 全校 | 52人 |
| 1月25日(木) | 東庄町立石出小 | 5・6年生 | 35人 |
| 1月30日(火) | 市原市立市原小 | 3年生 | 33人 |

*「飛び上がるほどうれしかった」「友達と心が通じ合う楽しさを味わえた」「家で家族とやりたい」「家に帰ってから、妹とやってみて楽しかった」「表情や発想を豊かにしていくことが大事」と、子どもたちの感想。
*プロに学び、子どもたちにより刺激となった。教師も表現力の指導にあたっているが、アプローチの仕方が違い、とても参考になった。
*講師の子どもへのなげかけ方が学べた。(教員は叱ることから始まるが、大潤さんはまず受け止めてから始める)

パントマイム

講師：チカパン
(パントマイムプラネット)



| | | | |
|-----------|----------|-----|-----|
| 10月24日(月) | 匝瑳市立椿海小 | 4年生 | 33人 |
| 11月8日(水) | 富津市立金谷小 | 全校 | 36人 |
| 12月8日(金) | 東金市立日吉台小 | 1年生 | 36人 |

*普段は自己表現が苦手だったり、失敗することに過敏になったりする児童が、講師の方の巧みな声掛けによってどの活動にも積極的に取り組むことができた。
*教えられたパントマイムに工夫を加えられた児童を取り上げて褒めてもらえたので、表現がどんどん豊かになっていく感じが感じられた。

演劇表現

講師：神山一郎
(俳優・演出家)



| | | | |
|----------|-----------|---------|-----|
| 9月22日(金) | 九十九里町立片貝小 | 3・4年生 | 67人 |
| 10月3日(火) | いすみ市立東小 | 4・5・6年生 | 34人 |

「演劇に正解はないよ、これでいいんだよ」という講師のメッセージはさすがだと思った。周りをよく見る事、感情を出すこと、目的を持つことが大事だよと言った講師の言葉で、コミュニケーションをとることができた。

朗読

講師 半田晶子
(俳優・演出家)
石田庸子
川井真代
松本伊代



| | | | |
|----------|---------|-----|-----|
| 1月18日(木) | 東金市立豊成小 | 4年生 | 47人 |
|----------|---------|-----|-----|

なにか楽しそうなことが始まるらしい、と感じたのが徐々に笑顔がでてきた。詩の群読もさらにおおきな声が出てきた。グループで相談しながら表現、演技を考えるとときも集中して意見を出し合いながら作ることができた。

アフリカの太鼓

講師：BBモフラン
ダウディ 典子



- *一人ひとりが表現を抵抗なく行えるようになり、音楽に合わせて体全体を使った活動をする事によって、豊かな表現力を育てることができた。
- *はじめからノリノリでダンスもかけ声もみんな楽しくて元気がよかった。特別な授業で、児童、職員が大きな刺激を受けることができ、授業の構成や子どもたちを引き込む声かけや師範等、私たちも勉強になった。
- *ユーモアを交えたお話と、芸術性の高さ、講師の方々の人柄、内容の構成、どれをとっても素晴らしく、国際理解としても子どもたちの心に残る学習になった。
- *生のものに触れると子どもの興味が違う。芸術に関しては特に本物に触れること、出会うことが大切。

講師：永野むつみ 大沢直
(人形劇団ひばたあむ)

人形工作

| | | | |
|-----------|------------------|-------|-----|
| 10月24日(月) | 市川市立大町小 | 5.6年生 | 37人 |
| 11月20日(月) | 八街市立二州小学校 沖分校 | 全校 | 28人 |



- *意欲的に取り組み、できあがった作品に満足した子どもが多く、意見を堂々とみんなの前で発表する姿みられた。
- *子どもは、「教わる」のではなく「自分で工夫して創る」ために情報交換や共同作業等の活動が自然に見られた。
- *この体験が、教わる学習から自ら学ぶ学習につながると思える。

和太鼓

講師：太田雅人
小坂駿登 中代和紗



| | | | |
|-----------|----------|-------|-----|
| 9月22日(金) | 佐倉市立和田小 | 3・4年生 | 19人 |
| 9月25日(月) | 木更津市立富岡小 | 全校 | 32人 |
| 11月15日(水) | 木更津市立波岡小 | 3年生 | 23人 |
| 11月30日(木) | 君津市立松丘小 | 5・6年生 | 22人 |

| | | | |
|-----------|-----------|---------|-----|
| 7月13日(木) | 白子町立南白亀小 | 5年生 | 22人 |
| 7月18日(火) | 学校組合布施小 | 全校 | 55人 |
| 9月6日(水) | 市原市立湿津小 | 3年生 | 49人 |
| 9月8日(金) | 船橋市立丸山小 | 2年生 | 47人 |
| 9月20日(火) | 習志野市立向山小 | 4年生 | 46人 |
| 10月2日(月) | 松戸市立貝の花小 | 2年生 | 48人 |
| 11月1日(水) | 千葉市立弥生小 | 3・4年生 | 49人 |
| 11月2日(木) | 流山市立西深井小 | 1・2年生 | 58人 |
| 11月7日(火) | 木更津市立中郷小 | 全校 | 66人 |
| 11月8日(水) | 富里市立富里第一小 | 5・6年生 | 40人 |
| 11月14日(火) | 八千代市立村上北小 | 5・6年生 | 51人 |
| 11月27日(月) | 千葉市立坂月小 | 全校 | 50人 |
| 11月28日(火) | 南房総市立三芳小 | 4年生 | 51人 |
| 12月4日(月) | 八千代市立米本小 | 4・5・6年生 | 49人 |
| 12月11日(月) | 市原市立東海小 | 6年生 | 30人 |
| 1月17日(水) | 市原市立戸田小 | 1・2年生 | 60人 |
| 1月23日(火) | 柏市立富勢東小 | 3・4・6年生 | 39人 |



講師：あらたに葉子
ぴんたろう 上村純 (リーフ企画)

歌唱

| | | | |
|-----------|----------|-------|-----|
| 9月20日(火) | 四街道市立吉岡小 | 6年生 | 57人 |
| 9月21日(水) | 四街道市立栗山小 | 4年生 | 45人 |
| 10月10日(火) | 佐倉市立山王小 | 3・4年生 | 55人 |
| 10月25日(火) | 富津市立富津小 | 4年生 | 30人 |
| 12月19日(月) | 栄町立竜角寺台小 | 1・2年生 | 30人 |
| 12月20日(火) | 市原市立白幡小 | 6年生 | 43人 |



- *「歌うのが好きになった」「音楽の授業が楽しみなになった」等、子どもたちの気持ちに変容がみられた。朝、学級で歌う歌を体全体を使って表現している。
- *日頃は、身体表現にあまり興味を示さない児童が、リズムに合わせて楽しそうに体を動かし、控えめな性格の児童も、身体表現に抵抗がなくなってきた。
- *児童と一緒に楽しみつつ、歌唱指導を行うことが大切であることを、教員が再認識することができた。

- *体験後の音楽の授業では和楽器の学習を意欲的に行う姿が見られた。音色の違いに気が付いて感想を言う子が何人もいて驚いた。
- *講師の先生にほめてもらい、クラスの見本として発表したことが、自信になったようで、教室にもどってから太鼓のリズムを口ずさみながら、楽しそうに過ごすことができた。多くの人に認められる場となり、自己肯定感を高めることができた。



市民活動ではたらく幸せ 私の生き方を決めた子ども劇場

特定非営利活動法人野田文化研究会 事務局長 荒井ハツヨ

1984年野田子ども劇場の創立に関わり、それから現在まで約35年 NPO活動の事務局として仕事をしてきました。子ども劇場の活動の中で、この仕事を一生の仕事にしても良いと思った印象的な活動に出会うことができました。それは1984年の「入場税撤廃」の行動でした。全国の子どもの劇場の仲間と劇団等の文化人の皆さんと共に国会に署名を届け、にぎやかにパレードをして「入場税撤廃」をアピールしました。その結果入場税の免税額が下がり当面子ども達の観劇、映画等の料金には税金がかからなくなるという快挙でした。この活動を通して、子ども劇場が総合的な文化運動だということを実感しやりがいのある仕事となっていきました。野田の中で多くの子ども達、親たちと様々な活動を通して繋がり、学校や行政等とも関係づくりをして子ども達の育ちにより良い環境づくりを目指してきました。そして子ども劇場を卒業した大人達は子どものための、新しい活動を地域で立ち上げて活動をしています。その原動力、土台になっているのは元の子どもの劇場千葉県連絡会の時代にたくさんの学びをし、多くの人を育てた結果であると思います。

私もその中の一人で事務局学習会等で培ったものを力にして、子ども劇場設立メンバーと一緒に「NPO法人野田文化研究会」を2006年に立ち上げました。「平和を視野に入れた社会性のある文化活動を通して、人間が自由で豊かで自分らしく輝ける文化環境をつくる」というミッションの基に、高校生や小学生とともに平和をテーマにした朗読劇作りの活動は、若者に平和の大切さを伝える活動として10年以上継続しています。また日本の伝統文化である紙芝居、人形劇の活動として学童や高齢者施設等を訪問して楽しさを伝えています。こうした様々な活動を通じ、「関わることで繋がり安心できる」という居場所を文化研究会はつくりながら13年目を迎えます。と同時に私は5年前から野田市市民活動支援センターの立ち上げからコーディネーターとしての仕事が始まり、多くの市民活動団体と繋がり、サポート活動をしています。子ども劇場の事務局として培った土台をもとに現在に至りますが、それはごく自然の流れのように広がり「市民活動」で働ける幸せを感じています。

私からのメッセージ



想いが人をつなげ、出会いから絆が生まれる

発達障がい者親の会 コアラ会員 吉田葉子

無事に産まれてきます様に。子どもを授かり出産するまで、親の一番の願いではないでしょうか。我が子が健やかに育ち始めますと、その願いに少し欲が出る様です。スポーツが得意な子になって欲しい、勉強が出来る子になって欲しい、など思いは膨らみます。集団生活が始まると思いは義務になり、このくらい出来なければ、こんな事も分からなくてどうしようと、願いは焦りへと変わりました。そんな中、息子に発達障がいがあると判明。この先、どう育てれば良いのかと悩む毎日でした。そんな私を心配して、ある方が学校図書ボランティアに誘って下さいました。子ども達に絵本の読み聞かせをしたり、本の修繕をする活動です。学校で沢山の子ども達と関わると、私の子育てへの考えが変わっていききました。子どもの特性を個性と思える様になったからです。ボランティアの仲間、いろいろな相談もできましたので、この活動がどれだけ、心の支えになった事でしょうか。そして、私の背中を優しく押し、前へ進む勇気ももらい、親の会への参加や地域サー

クルとの関わりなど、私の世界を少しづつ広げていってくれたのです。昨年の秋、図書ボランティアメンバーの紹介で、子ども劇場千葉県センターママパパラインちばのスタッフさんと一緒に、研修会を開く機会を頂きました。様々な特性や、困難を抱える子を育てる親は、時に深い悩みを持ったり行き詰まったりします。そんな方々に寄り添い、話を聞こうと活動して下さるスタッフさんの思いを知って、胸がいっぱいになりました。私の体験を熱心に聴いてくださり、頭の下がる思いでした。私は想いが人を繋げ、活動を通して「絆」が生まれると思っています。そして人を成長させてくれるのは、人との関わりだとも思っています。学校で、ボランティア活動に関わる親を見ていたからか、息子には学校に関わる仕事がしたいとの目標が、娘には子どもの世話をしたいという夢ができました。これからも、人との関わりや絆を大切に、子ども達と共に成長して行ければと、願っております。仲間、友人、家族、どれもが私のかけがえのない宝物です。

子ども一ふの絵本箱



『わっくぶっく』誕生！！

～私たちらしいおやこサロンの形を模索し続けて～

NPO法人 子ども一ふ袖ヶ浦 理事長 田中直子

2005年「ほっとティーのおへや」



NPOとして「集う」「観る」「あそぶ」「つながる」をキーワードに活動を続けて13年。親子が気軽に集えるような居場所づくりは、「ほっとティーのおへや」として始まりました。未就園児の親子を対象に月に一回有料で開催。先輩ママのゆるやかな見守りのもと、安心して一杯のコーヒーに癒やされる時間を過ごしてほしいという思いで続け、多いときには30組の親子でにぎわいましたが、行政による無料の子育て支援センターなどの充実と共に参加者が減り、一旦休止。2009年に「赤ちゃんとお母さんのための体験と交流のひろば ままんべいび」に引き継がれました。

「ままんべいび」の取り組み



文化芸術的な体験プログラム 30分+お母さん同士も交流できる沙龙的なあそびの広場 1時間を組み合わせる形で開催。不定期ながらも、一ふの特色を出しました。特にコンサートは好評で、「身近な場所で、赤ちゃんと一緒に生の音楽を聴けて嬉しかった！」「子どもが歩き回ったり泣いたりしても気にせず過ごせてありがたかった」という声を励みに、9年目となる現在も継続中です。子育てにもっと文化を！という思いを形にしようと、昨年事務所を移転したのを機に、おやこ文庫「わっくぶっく」（2017年度 全労済地域貢献助成事業）の開設にこぎつけました。

2017年10月「わっくぶっく」オープン！



わくわくするような絵本に囲まれて親子でゆったりと過ごしてほしいとの願いをこめたネーミング。絵本からママ向けの本や雑誌、良質な木のおもちゃ、手作りの布のおもちゃなどを揃え、月に1～2回10:30～14:00、お昼持ち込みOKでスタートしました。40分もかかるのに「やっと歩いて行けるところできた」と嬉しそうなママや「ここは誰でも来れますか？」と、片言の日本語で訪ねて来てくれた近所の外国人のママ。会員さんが、引っ越してきたばかりのママを誘ってくれたり、近くのお店でポスターを見て寄ってくれる親子がいたり…。毎回4～5組の参加者ですが、狭いスペースですからすぐに打ち解けて和気あいあいの雰囲気。多くの親子が集まる子育て支援センターには気後れして行きにくい人も、ここなら家庭的でほっとするようです。

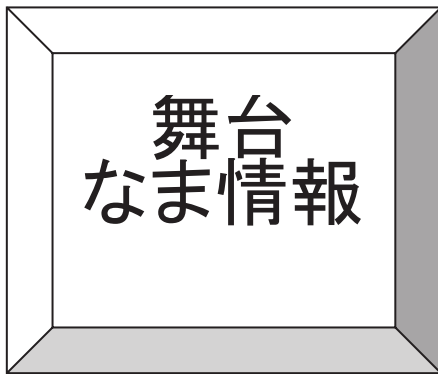


子どもたちはと云えば、まずは木のおもちゃ！サポートに来てくださるおもちゃコンサルタントのおじさんに仕掛けられて遊びの世界が広がります。そのうちに一人また一人と気に入った絵本を持ってママのおひざへ。近頃は絵本を借りていく人も増えました。お昼はみんなでテーブルを囲んで。子育て情報が飛び交います。時にはプチ人形劇やパネルシアター・ミニコンサート・おもちゃの広場などイベントを織り交ぜ、今までつながった地域の方々の手も借りて、この場が子育てと文化の結び目に育っていったらいいなあ…と夢見る日々です。

編集後記

新年度を迎え進級、進学で新しい環境に子どもたちは、胸をときめかせていることでしょう。子どもたちが「安心」して身を置ける環境であるよう私たちは願わないではいられません。また職場復帰するママたちもいることでしょう。入り混じるように「不安」もたくさんあることと思います。そんな時には、「チャイルドライン千葉」「ママパラインちば」へどんなことでもいいですから電話して気持ちを伝えてください。





- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・役員の下見は5名まで無料
 - ・その子どもは1人1,000円
 - ・その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第88号別冊 <2018年5月~7月>

舞台劇

| 団体名 | 作品名 | 日程 | 開演時間 | 場所 | 主催団体 | 観客対象 |
|-----------|---------------|------|-------|------------|------|--------|
| ◇ CAN青芸 | ニコリのたね | 6/17 | 午後 | 佐倉中央公民館 | 佐倉 | 4才~大人 |
| ◇ 劇団うりんこ | ともだちや | 6/23 | 18:00 | 船橋市内公民館 | 船橋 | 幼児~大人 |
| ◇ 劇団風の子九州 | やだ、やだ あっかんべー! | 7/7 | 13:30 | 千葉県教育会館ホール | 千葉北 | 小学生~大人 |

人形劇・影絵劇

| 団体名 | 作品名 | 日程 | 開演時間 | 場所 | 主催団体 | 観客対象 |
|----------------|------------------|------|-------|--------------------|------|----------|
| ☆ 人形劇団ココン | カボとピノ | 5/13 | 11:30 | 南行徳市民センター | 市川行徳 | 幼児~大人 |
| ☆ 人形劇団どむならん | いかりのギョーザ | 5/20 | 11:30 | 白井市西白井複合センター | 白井 | 乳幼児~大人 |
| ☆ 人形劇団京芸 | ほっこりしあたー | 6/3 | 13:30 | 千葉市民会館特別会議室2 | 千葉中央 | 幼児と大人 |
| ☆ 人形劇団ポポロ | 14ひきのはる・なつ・あき・ふゆ | 6/30 | 15:30 | 浦安市民プラザWave101 | 浦安 | 幼児~大人 |
| ☆ 人形劇団ひぼぼたあむ | ふたりのお話 | 6/30 | 未定 | 富里北部コミュニティセンター(予定) | 成田 | 乳幼児~未就学児 |
| ☆ くわえ・ばべつとステージ | みにくいあひるのこ | 7/1 | 14:00 | 新習志野公民館 | ならしの | 3才~大人 |
| ☆ ぱびぷべぼ劇場 | のそのそによろよろ | 7/1 | 14:00 | 八千代台文化センター | 八千代 | 幼児 |
| ☆ 人形劇団むすび座 | アラビアンナイト | 7/22 | 14:00 | 袖ヶ浦市民会館大ホール | 袖ヶ浦 | 乳幼児~大人 |

音楽

| 団体名 | 作品名 | 日程 | 開演時間 | 場所 | 主催団体 | 観客対象 |
|-----------------|-------------------------|------|-------|--------------|------|--------|
| ♪ オペラシアターこんにゃく座 | オペラ「銀のロバ」 | 6/3 | 18:00 | 八千代市市民会館大ホール | 八千代 | 小学生~大人 |
| ♪ 高嶺紀子&川元真理 | S・T・A~至福の時をあなたと~ | 6/24 | 18:30 | 市川市全日警ホール | 市川北 | 小学生~大人 |
| ♪ リーフ企画 | 歌子さんの歌ものがたりラブ・ユー・フォーエバー | 7/1 | 14:00 | 四街道公民館 | 四街道 | 幼児~大人 |
| ♪ マッシュ&Kei | ミュージッククラウンショーせかいのおんがく | 7/8 | 14:00 | 行徳公民館(予定) | 市川行徳 | 幼児~大人 |

芸能・他

| 団体名 | 作品名 | 日程 | 開演時間 | 場所 | 主催団体 | 観客対象 |
|----------------|---------------|------|-------|-------------------|---------|--------|
| ◎ 大蔵流吉次郎狂言会 | 狂言 | 5/11 | 19:00 | 船橋市民文化ホール | 千葉県センター | 小学生~大人 |
| ◎ NPO法人eco体験工房 | らんま先生のeco実験教室 | 7/1 | 午前/午後 | 市川市文化会館ローズルーム(予定) | 市川中央 | 幼児~大人 |

きらきらわくわく情報

2018年5月～7月

| 活動 | 日程 | 場所 | 主催団体 | |
|--------------------------------|------------------------|------------------|--------|--------------------|
| ▪ えほんのひろば わいわいキッズ(0才～) | 5/7,6/4,7/3 | 市川駅南公民館 | 市川中央 | 乳幼児の活動 |
| ▪ おやこサークル クレヨンクラブ | 5/8.22,6/5.19,7/3 | 行徳駅前公園研修室 | 市川行徳 | |
| ▪ 青空保育 どんぐりクラブ | 5/8.22,6/5.26,7/3.10 | 白井市内公園他 | 白井 | |
| ▪ 0,1,2才児親子の居場所 ぴよんぴよんクラブ | 5/9.23,6/13.27,7/11 | 八千代市ふれあいプラザ | 八千代 | |
| ▪ おしゃべりほっとスペースぴよぴよひろば(0才～) | 5/10,6/14,7/12 | 市川市鬼越鬼高地域ふれあい館 | 市川中央 | |
| ▪ 幼児とお母さんの親子ふれあい遊び アクティブキッズ | 5/10.24,6/14.28,7/12 | 千葉市小中台地域福祉交流館 | 千葉北 | |
| ▪ 乳幼児と親のワークショップ 親子リズム体操 | 5/10.31,6/7.21,7/5.12 | 千葉市子ども交流館 | 千葉中央 | |
| ▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ | 5/10,6/14,7/12 | 主に神納コミュニティセンター | 袖ケ浦 | |
| ▪ おしゃべりほっとスペースきらきらひろば(1才～) | 5/11.25,6/8.22,7/13.27 | 市川市信篤公民館 | 市川中央 | |
| ▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ | 5/11.18.25,6/1.8.15.29 | 四街道市四区集会所 | 四街道 | |
| ▪ 絵本とあそびのひろば わくわくキッズ(1才～) | 5/15,6/5,7/3 | 市川市勤労福祉センター | 市川中央 | |
| ▪ 乳幼児親子サークルのびのびキッズ | 5/15.29,6/19.30 | 主に成田市保健福祉館 | 成田 | |
| ▪ 乳幼児とお母さんのほっとスペース はっぴいスペース | 5/17,6/7.21,7/5.19 | 千葉市小中台地域福祉交流館 | 千葉北 | |
| ▪ 乳幼児の親子のためのサークル ぶらんこ | 5/18 | 流山市中央公民館講義室 | 流山 | |
| ▪ おやこ文庫 わっくぶっく | 5/23,6/13.27,7/11 | 子ども一ふ袖ケ浦事務所 | 袖ケ浦 | |
| ▪ 乳幼児親子 たまごキッズSUNDAY 乳幼児デイキャンプ | 5/27 | 栗山農村ひろば | 四街道 | |
| ▪ 幼児親子 はっぴはっぴクラブ 親子でパン作り | 6/3 | 津田沼市谷津公民館 | ならしの | |
| ▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ | 7/6.13.20.27 | 四街道市四区集会所 | 四街道 | |
| ▪ 子育て広場 はっぴのおうちwithおそと | 毎週火・木 | こどもユニットWakaba事務所 | Wakaba | |
| ▪ 乳幼児親子サークル ぴよんぴよんキッズ | 毎月2回木曜予定 | 市川市信篤公民館 | 市川中央 | |
| ▪ 乳幼児親子サークル | 毎月1回日にち未定 | 印西市内集会所 | いんざい | |
| ▪ 中高生サークル | 毎月1回日にち未定 | 印西市内集会所 | いんざい | 高学年の活動 |
| ▪ 木村研さんの工作ワークショップ | 5/19 | 船橋市中央公民館 | 船橋 | 講演会・学習会 ワークショップ |
| ▪ テカパンのワークショップ | 5/20 | 流山市北部公民館 | 流山 | |

| | 活動 | 日程 | 場所 | 主催団体 |
|----------|--------------------------|-----------------------|-------------------|--------|
| いろいろ体験活動 | ▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば | 5/9.11.16.18.23.25.30 | 四街道市四区集会所 | 四街道 |
| | ▪ 本町通りきらきら春の夢ひろば | 5/12 | 船橋市本町通り | 船橋 |
| | ▪ 月例自然遊び体験 デイナーキャンプ | 5/12 | こどもユニットWakabaはらつば | Wakaba |
| | ▪ 野の花を見ながらゴミ拾い | 5/13 | 印西市別所谷津公園 | いんざい |
| | ▪ 秘密基地をつくろう | 5/13 | 成田市中郷体育館 | 成田 |
| | ▪ 5月あそびの会 いも苗植え | 5/13 | 千葉市百万本こもれびの里 | 千葉北 |
| | ▪ カーネーションのフラワーアレンジメント | 5/13 | あすみが丘プラザ工作室 | 緑区 |
| | ▪ ダンボールでなが〜いトンネルをつくろう | 5/19 | 印西牧の原モア 水の広場 | いんざい |
| | ▪ 大人カルチャー アイシングクッキーをつくろう | 5/29 | 未定 | 浦安 |
| | ▪ 子どもから大人まで遊ぶ あそびの会 | 6/3 | 流山市生涯学習センター | 流山 |
| | ▪ ホタルを守ろう！アメリカザリガニ獲り大会 | 6/3 | 印西市亀成川上流域の里山 | いんざい |
| | ▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば | 6/6.11.13.18.27 | 四街道市四区集会所 | 四街道 |
| | ▪ ミニキャンプ | 6/15～16 | 市川市大町少年自然の家 | 市川中央 |
| | ▪ 県民の日遠足 石井食品工場見学 | 6/15 | 石井食品 | いんざい |
| | ▪ みんなあつまれ！プチ運動会 | 6/16 | 行徳公民館 | 市川行徳 |
| | ▪ 自分だけの木のおもちや作り | 6/17 | 誉田公民館 | 緑区 |
| | ▪ 月例自然遊び体験 フィンガーペイント | 6/24 | こどもユニットWakabaはらつば | Wakaba |
| | ▪ 子ども縁日店長会議全2回 | 6月日にち未定 | 印西市内公民館 | いんざい |
| | ▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば | 7/4.6.11.13.18.25.27 | 四街道市四区集会所 | 四街道 |
| | ▪ デイキャンプ | 7/16 | 妙典河原 | 市川行徳 |
| | ▪ 親子キャンプ2018 | 7/21～22 | 大房岬少年自然の家 | 八千代 |
| | ▪ 月例自然遊び体験 流しそうめん・水あそび | 7/21 | こどもユニットWakabaはらつば | Wakaba |
| | ▪ おやこキャンプ | 7/21～22 | 未定 | 四街道 |
| | ▪ きもだめし | 7/22 | 佐倉市上座公園 | 佐倉 |
| | ▪ 子ども一ぶまつり | 7/22 | 袖ヶ浦市民会館 | 袖ヶ浦 |
| | ▪ プロと一緒にたくさんあそぼう！ | 7/24 | きぼーる&千葉市文化センター | 緑区 |
| | ▪ ふなばし市民まつり | 7/28 | 船橋市本町通り | 船橋 |
| | ▪ ホタル観賞 | 7/28 | 富里市谷津田 | 成田 |
| | ▪ 親子キャンプ | 7/29～31 | 秩父市浦山清流キャンプ場 | 市川行徳 |
| | ▪ 亀成川生き物観察会 | 7/29 | 亀成川上流 | いんざい |
| | ▪ そうめん流し | 7月末日 | 白井市平塚 | 白井 |
| | ▪ ホタル観賞会 | 7月末日 | 市川市大町自然観察園 | 白井 |
| ▪ 子ども縁日 | 7月日にち未定 | 印西牧の原モア | いんざい | |

子どもと文化 イベント情報

◆ チャイルドライン千葉・ママパ パラインちばを応援するチャリ ティ公演「狂言」

大蔵教義他5名。演目「狂言の解説」
「棒縛(ぼうしばり)」「伯母ヶ酒」

大蔵流吉次郎狂言会による
本格的な狂言の舞台と一緒に
楽しみましょう！

～beyond2020プログラム認定～

5月11日(金)18:30開場 19:00開演

場所：船橋市民文化ホール

対象：小学生～大人

参加費：一般2,500円 子ども1,500円

当日300円増し 全席自由

主催/(特)子ども劇場千葉県センター

Tel.043-301-7262

◆ 木村研さん工作ワークショップ ～音の出る楽器作りから～

木村研さんは絵本・児童文学作家。
『999ひきのきょうだい』(ひさかた
チャイルド)。手作りおもちゃ研究家

5月19日(土)13:00～14:30

場所：船橋市中央公民館第8集会室

対象：3才児～小学低学年

参加費：1人 500円(保険代込み)

主催/(特)船橋子ども劇場

Tel.047-424-0851

◆ ダンボールでなが～いトン ネルをつくろう

ダンボールで長いトンネルを作りくぐります。

今年はいつもと場所が違いますよ。

5月19日(土)14:00～16:30

場所：印西牧の原モア 水の広場

対象：子ども

小学3年生までは保護者同伴

参加費：1人 100円(保険代込み)

持ち物：ガムテープ(要記名)、ダンボール

主催/(特)いんざい子ども劇場

Tel.0476-46-6287

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
各主催団体をお願いします。

◆ オペラ「銀のロバ」鑑賞会 オペラシアターこんにやく座

生の歌声とピアノの音色が会場
いっぱいに広がります。

6月3日(日)18:00開演

場所：八千代市市民会館大ホール

対象：小学生～大人

参加費：3,000円 当日3,500円

共催/八千代市文化・スポーツ振興財団

後援/八千代平和事業市民実行委員会

主催/(特)子どもネット八千代

Tel.047-486-4699

◆ ミニキャンプ

夏休みのキャンプをより楽しむた
めの事前ワークショップ。市内の
キャンプ場で1泊。野外炊事・火
おこし・ネイチャーゲーム・キャン
プファイヤーなど

6月15日(金)～16日(土)

場所：市川市大町少年自然の家

対象：幼児～大人(親子)

参加費：未定(3,000～5,000円程度)

主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区

Tel.047-332-3024

◆ 親子で楽しい子ども～ぶまつり ～アラビアンナイトと出会おう～

子ども～ぶ設立25周年記念
の人形劇団むすび座「アラビアン
ナイト」公演や、他団体の
様々なワークショップ、子ども
アート体験で一日楽しめます。

7月22日(日)10:00～15:30

「アラビアンナイト」以外は13:30で終了

「アラビアンナイト」は14:00開演

場所：袖ヶ浦市民会館

対象：乳幼児～大人

参加費：子ども～ぶまつりは無料

むすび座「アラビアンナイト」は大人

2,000円 子ども500円(3才以上)

主催/(特)子ども～ぶ袖ヶ浦

Tel.0438-63-2850

◆ ヴァイオリンとピアノのコン サート

S・T・A～至福の時をあなたと～

高嶺紀子&川元真理

6月24日(日)18:30開演

場所：市川市全日警ホール

対象：小学生～大人

参加費：子ども500円

大人1,500円 大人ペア2,000円

主催/(特)市川子ども文化ステーション北地区

Tel.047-339-7744

◆ 納涼きもだめし

公園の1本道にたくさんさんの仕掛けと
様々なお化けが出没！

7月22日(日)19:00～20:30

場所：佐倉市上座公園

対象：どなたでも

参加費：小学生以上500円

主催/(特)NPO佐倉こどもステーション

Tel.043-487-1655

◆ 子どものあそび☆アート体験 ひろば(2か所で開催)

こま・けん玉(こまのたけちゃん)、殺陣・

アクション(石田武)、ダンス(安西真幸)、

アフリカンパーカッション(BBモフラン)、

幼児親子対象あそびのひろばも楽しいよ。

7月24日(火)午前の部10:00～

午後の部13:15～ (30分前から受付)

場所：きぼーる&千葉市文化センター

対象：幼児親子、小学生

参加費：各回300円

主催/(特)子ども劇場千葉県センター

Tel.043-301-7262

◆ 子ども縁日

子どもが自分で考えてお店の運営もし
ます。今年は場所が違いますよ。

7月日にち未定 午後実施

場所：印西牧の原モア

対象：子ども 参加費：無料

主催/(特)いんざい子ども劇場

Tel.0476-46-6287

千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧

| 千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧 | 団体名 | | Tel. | | |
|---------------------|-------------------------|---------------|--------------|----------------------|----------------|
| | ● | NPO法人 野田子ども劇場 | 04-7124-8419 | ● | NPO法人 子どもプラザ成田 |
| ● | NPO法人 流山おやこ劇場 | 04-7152-0446 | ● | 千葉西おやこ劇場 | 043-272-1416 |
| ● | NPO法人 市川子ども文化ステーション | 047-395-7670 | ● | NPO法人 こどもユニットWakaba | 043-232-0045 |
| ● | NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区 | 047-332-3024 | ● | 千葉北おやこみるあそび会 | 043-241-1142 |
| ● | NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区 | 047-339-7744 | ● | NPO法人 緑区子どもサポートセンター | 043-308-4436 |
| ● | NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区 | 047-395-7670 | ● | NPO法人 千葉中央おやこ劇場 | 043-251-0142 |
| ● | NPO法人 子どもとまつど | 047-344-2272 | ● | NPO法人 四街道こどもネットワーク | 043-423-5381 |
| ● | 浦安子ども劇場 | 080-6651-9175 | ● | やちまたおやこ劇場 | 043-442-3257 |
| ● | NPO法人 船橋子ども劇場 | 047-424-0851 | ● | NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦 | 0438-63-2850 |
| ● | NPO法人 ならしの子ども劇場 | 047-451-3676 | ● | NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク | 047-711-8813 |
| ● | 白井子ども劇場 | 047-491-2163 | ● | NPO法人 子育てネットワークゆっくっく | 04-7129-8089 |
| ● | NPO法人 NPO佐倉こどもステーション | 043-487-1655 | ● | NPO法人 里山会 | 047-482-4613 |
| ● | NPO法人 子どもネット八千代 | 047-486-4699 | ● | 千葉県子ども核廃 | 047-457-2065 |
| ● | NPO法人 いんざい子ども劇場 | 0476-46-6287 | ● | NPO法人 子ども劇場千葉県センター | 043-301-7262 |